



# サミットの廃棄物の取り組みについて

平成27年5月29日  
サミット株式会社  
総務部 杉村尚樹

1



## 1. サミット株式会社の概要

⌘ 会社名	サミット株式会社
⌘ 英文名	SUMMIT, INC.
⌘ 本部所在地	東京都杉並区永福3丁目57番14号
⌘ 設立	1963年7月29日
⌘ 営業開始	1963年10月24日
⌘ 資本金	39億2,000万円
⌘ 売上高	2,352億200万円(2014年度)
⌘ 経常利益	44億8,600万円(2014年度)
⌘ 従業員数	9,086名 (8時間換算)
⌘ 事業内容	食品スーパーマーケット及びその他生活関連商品の小売チェーン
⌘ 株主	住友商事株式会社100%
⌘ 子会社	株式会社サミット・コルモ

2

## 2. 事業内容とサミットの使命

### ❧ 1. 事業内容

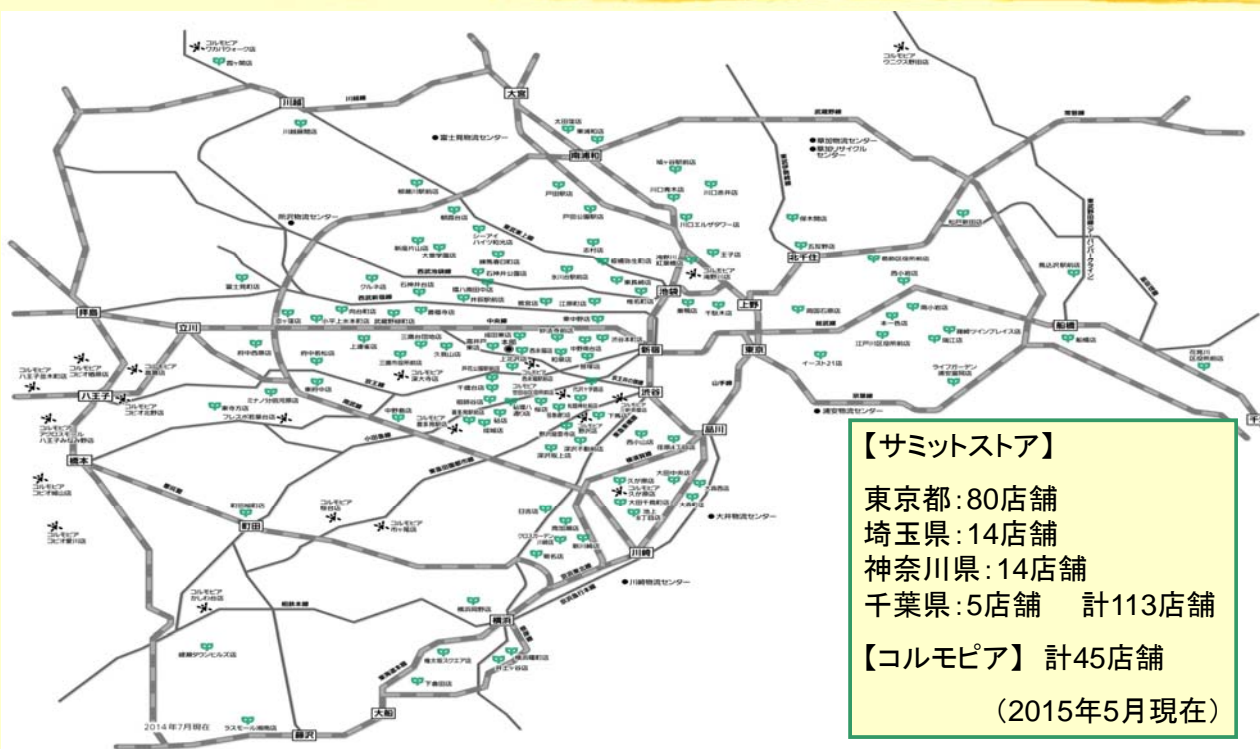
- 食品スーパー及び、その他
- 生活関連商品の小売チェーン
- サミットストア、インスタベーカー、
- サミット・コルモ(子会社・衣料品チェーン)



### ❧ 2. スーパーマーケットとしてのサミットの使命

- 安心して買える、日常の食事の材料などの食品、
- およびそれと同時に買い物すると便利な食品・非食品が、
- いつでもその時期に応じて、揃っている。
- その状態が、すべてのチェーン店で、いつも変わらずに続いている。 3

## 3. 店舗展開図



## 4. 環境・社会貢献活動

年	活動内容
1990	大宮八幡宮で第1回杉並花笠祭りを開催
1991	廃油・発泡スチロールのリサイクル開始 発泡スチロールトレイ・牛乳パック・アルミ缶の店頭回収開始
1995	ペットボトルの店頭回収開始
2002	生ごみのリサイクル開始
2004	紙ごみのリサイクル開始
2005	ISO14001認証取得 ペットボトル自動回収機設置開始
2006	オイスカと協働し、「森づくり」と「つみきの普及活動」への支援開始 杉並区の児童館に間伐材を使ったつみ木を寄贈(以降毎年異なる自治体に寄贈) 社員ボランティア・新入社員研修で森林整備体験を開始
2007	杉並区の成田東店でレジ袋有料化開始
2009	生ごみの循環型リサイクル37店舗開始 杉並区内全店(8店舗)でレジ袋有料化
2010	ペットボトルキャップ店頭回収開始
2013	草加物流センター内に自社リサイクルセンターを新設

5

## 5. サミットの廃棄物の取り組みについて

サミットでは、早くから環境問題に取り組んでいます。

ごみを出来る限り減らし、リサイクルにより限りある資源の有効活用をすることで環境負荷の低減と循環型社会の実現を目指しています。

そのために以下のことに取り組んでいます。

6

# (1)きちんと分別する

ごみを減らす基本例です。



ごみ置場の入り口ドアに産業廃棄物保管場所の表示及びごみ置場の表示

※「廃棄物処理法法律施行規則第8条」に基づく(サイズ60cm×60cm)

作業場でのごみの分別状況



# (2)廃棄物を出来る限り削減する

## 1. トレイの削減

- トレイの軽量化
- 一部商品の袋詰め販売  
(トレイを使用せず、肉を袋詰めで販売)
- バラ販売 など



【トレイを使用しない袋詰め商品】

## 2. レジ袋の削減

- マイバッグ持参の呼びかけ  
(14年度約33.6%の持参率)  
95円のオリジナルエコバッグを販売  
(年4回季節に応じデザインを変更)
- 杉並区内全8店舗でレジ袋有料化



【総菜のバラ販売】

# オリジナルエコバックの例

プルメリア



マリンホワイト



## (3) 廃棄物のリサイクル



### ① 野菜くず



## ②発泡スチロール



2013年11月物流センター内にリサイクルセンターを新設。約1/3の店舗から排出される発泡スチロール箱や店頭回収した食品トレーなどを合成樹脂製品の原料に再生している。

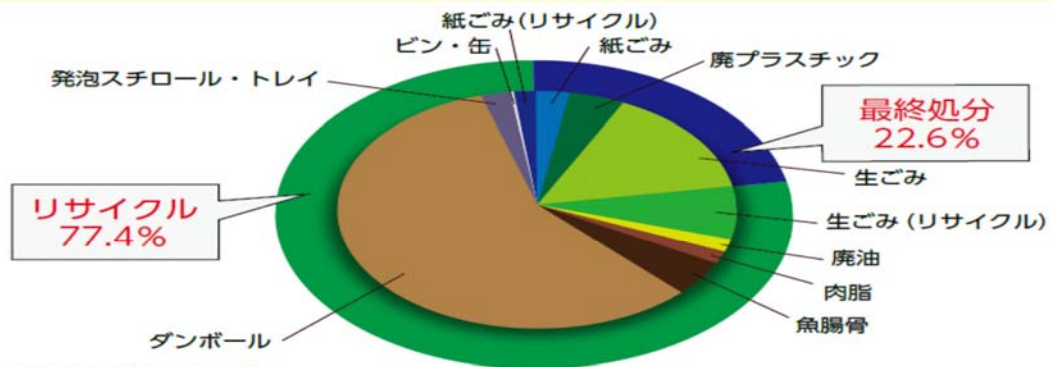


発泡スチロールを破碎し溶かす。



成型しペレット状に加工する。

## ③当社の廃棄物リサイクルの内訳



### 廃棄物等のリサイクル率



## 6. その他の取組み

- 産業廃棄物管理票(マニフェスト伝票)について
  - 年1回店長・副店長会議および新任副店長研修会にて以下を説明
    - ・「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」を遵守することにより、廃棄物の不法投棄を防止する。
    - ・産廃マニフェスト伝票の保管方法(一部電子マニフェスト化)
- 新店等の取引先選定方法
  - ・数社による相見積もり
  - ・新規取引先委託の場合は、企業調査および現地視察
- 計量の実施
  - 年1回(1週間程)全店で廃棄物を種類ごとに計量を行い、年間排出量を算出する。
  - 取引先の年間排出量と比較し排出量に誤差が生じる場合は、委託料の変更を取引先と打合せを行う。
- 定期更新
  - ・許可証の更新を定期的にチェック。(年1回)
  - ・基本契約書の内容が変更になった場合、都度覚書でとりかわす。
  - ・毎年ISO14001環境マネジメントシステムにより、内部監査と外部審査機関による審査を行う。

## 7. 社会貢献活動

### (1)大宮八幡宮杉並花笠まつり

- 毎年12月初旬に開催、来場者数は約2万人
- 企業メセナの一環として開始し、2014年で24回目
- 参道にはお取引先や当社による屋台が並び、チャリティによるいも煮やお酒を提供
- 当社社長をはじめ、役員や社員及び地元商店会による花笠踊りパレード
- チャリティ募金は地元の社会福祉協議会に寄付



【地域に定着した花笠祭り】



【山形名物のいも煮や地酒を振舞う】



【花笠踊りパレード】 14

## (2)「サミットの森」整備活動

### 活動内容

- 整備活動資金の寄付(毎年6月実施するボーナスポイントセールの売上げの一部)

<寄付の内容>

- ・地元の森林組合による全般的な森林整備作業
- ・木材を搬出し利用するための簡易作業用林道の作設
- 新入社員や社員ボランティアによる間伐、枝打ち等の作業体験



【社員ボランティアの活動】

15

## (3)「赤ちゃん木育広場」普及活動

- 「赤ちゃん木育おもちゃ」と遊ばせ方のインストラクター講座をセットにし  
社会福祉協議会を通して児童館や子育て支援団体等に寄付。(寄付先の自治体は毎年変更)
- 「赤ちゃん木育広場」とは

- ・「東京おもちゃ美術館」が推進する取組み
- ・広場の流れ

20種類程度の木のおもちゃを使い親子で遊ぶイベント。

インストラクターは木のおもちゃの遊び方や月齢に応じた効果を説明するとともに、赤ちゃんをあやし、母親と積極的にコミュニケーションを取りながら進行する。結果として地域での母親同士のコミュニケーションも生まれる。



16



ご清聴ありがとうございました。